



令和 2 年 8 月 6 日

南陽市議会議長 高橋弘 殿

無会派
会派会長 石藤明

令和 元年度 会派先進地等調査の報告について

このことについて、次により先進地等調査を実施いたしましたので、南陽市政務活動費に関する内規第4条の規定により報告いたします。

項目	調査・研修内容
調査期日	令和元年10月28日(日)から30日(火)まで 2泊3日
調査場所	宮崎県西都市 大分県豊後大野市
調査目的	西都市、グリーンツーリズムについて 豊後大野市、インテグレーションファームについて
調査概要	別紙の通り
その他	

令和元年初先進地等調査報告書

4/2 様へ 同日

調査期日、 令和元年10月28(月)～30日(水)まで

調査場所、 宮崎県 西都市
大分県 豊後大野市

調査目的 “ ” “ ”
(インキュベーションファーム事業について)

宮崎県 西都市
(グリーンツーリズムによる人口拡大について)

調査概要について 宮崎県西都市

○西都市は県都子崎市の北西に位置し、古墳郡好と真実は歴史遺産がある30,000人弱の市である。基幹産業は農業や園芸といった第一産業が中心の農村都市でもある。人口減少は深刻な状況が続いている。

グリーンツーリズムの目的は各自現場では共通の目的として都市住民に、農漁村の生活、田舎ぐらしの素晴らしさを伝えることが

さるよう、自ら学習し、個々の実践につなげ
る事ができるよう、積極的なグリーンツーリ
ズムを研究、推進する」ことを目的にしている
。両都府では、平成16年から基本的には2泊3
日の日程で地自強体への教育旅行、台湾での
毎年3回ほどアシゼニ等を行ってあり、その
うち1回～2回は個別の親睦会を兼ねる等
力を入れている。一方、26件の宿泊施設中、
9件しか営業許可を得ていない状況で、それ
以外の施設は県の特別許可を得た活動であ
り営業を目的と出来ず市民への負担が大きい
事など、構造的な問題もあると感じた。南陽市
では現在会員14名で活動しているが、その内
容はグリーンツーリズムにおける各種研修会
の参加と意見交換に留まっている。これまで
は、旅館の宿泊客に農業体験などを提供する
活動を行ってきたが季節的に受け時期が
限定され、体験においても実施できる作業が
限られるなど、活動が限定的だった事は否め
ない。グリーンツーリズムにおける人口交流

の拡大は、農家及び漁など外国人の受け入れも含めて可能性は高いと考えられ、実施する農家個人のやりがいや生きがいにつながると考えられるが、農家の高齢化や後継者のいない農家が増えている中で、グリーンツーリズムを担う農家が増える見込みは少ないのが現状であり、全国各自治体共通の悩みではないでしょうか。

以上

大分県豊後大野市の視察内容は次の事項の項目です。

ロイヤルキューベニヨニファーム事業

- ① ロイヤルキューベニヨニファーム事業の考え方。
- ② 募集にあたっての年令制限などの条件があるが、その目的は。
- ③ 市の補助事業に関して、その詳細。
- ④ 研修者の宿泊施設はどのようにしているのか。
- ⑤ 定着率100%は素晴らしい成果だが、その秘訣として考えられることは。

⑥ 短期研修で不合格となった場合再登録は可能か。

ウ

以上。